

# 社会的ジレンマの罰により生じる集団間代理報復に関する研究の実験プログラム製作

集団の協力問題の1に社会的ジレンマがある。その解決方法の1つに罰制度の導入が検討されている。しかし先行研究では、罰行使では代理報復行動が生じ、根本的問題の解決にならないことが示唆されていた。そこで本実験では、罰によって報復行動が生じることを明らかにするために、コンピュータプログラムを用いて理論検証型の実験を行った。

今回製作したプログラムは、実験条件用のクライアントプログラム、統制条件用のクライアントプログラム、サーバープログラムの3つである。統制条件用のクライアントプログラムは、ほとんど実験条件用のクライアントプログラムと同じ作りだが、罰行使者がランダムに選ばれるのではなく、コンピュータからランダムに金額を差し引かれるプログラムとなっている。

プログラム製作後は、実際に実験で使用する教室で、数日間に渡ってテスト試行を繰り返し、予期せぬ不具合やバグ、データの通信関連など、プログラムに関する問題点などを確認した。使用したプログラミングソフトは、Microsoft Corporation が開発した Visual Studio2019 で、使用言語は VB である。